

隠岐圏域(島前)  
減災対策協議会(フォローアップ)

- ・令和2年度の実施状況
- ・令和3年度の実施状況
- ・令和4年度の実施予定

項目	1. 土砂災害特別警戒区域の調査・周知及び指定	
内容	R2年度取組	縦覧、ケーブルテレビ放映、説明会、意見照会の回答、区域の指定完了
	R3年度取組	マップオンしまねで周知
	R4年度予定	マップオンしまねで周知
取組機関	島根県、海士町、西ノ島町、知夫村	

## ●調査・指定の目的

溪流や斜面及びその下流など土砂災害により被害を受けるおそれのある区域の地形、地質、土地利用状況等を調査し、土砂災害のおそれのある区域について**危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転の促進等のソフト対策を推進することを目的**としています。

## ●土砂災害特別警戒区域の指定状況

( ( )書き 土砂災害警戒区域指定箇所数 )

### 海士町 (令和3年3月2日指定)

- ◆土石流危険溪流 (谷) : 土石流 12箇所 (71箇所)
- ◆急傾斜地 (がけ) の崩壊危険箇所: 急傾斜 99箇所 (99箇所)
- 計 111箇所 (170箇所)

### 西ノ島町 (令和3年2月5日指定)

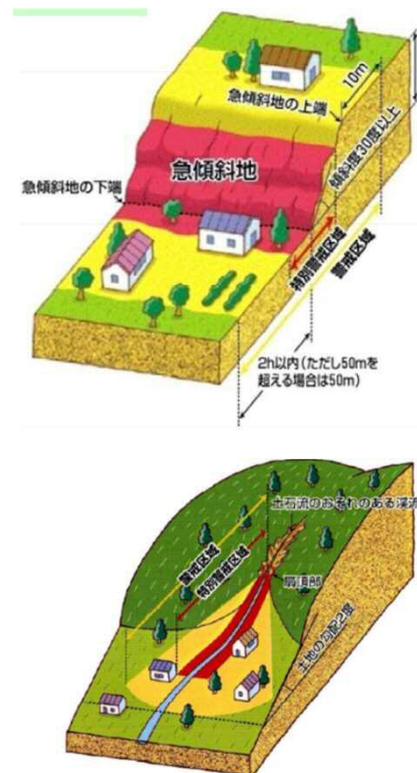
- ◆土石流危険溪流 (谷) : 土石流 5箇所 (65箇所)
- ◆急傾斜地 (がけ) の崩壊危険箇所: 急傾斜 74箇所 (76箇所)
- 計 79箇所 (141箇所)

### 知夫村 (令和3年1月8日指定)

- ◆土石流危険溪流 (谷) : 土石流 9箇所 (28箇所)
- ◆急傾斜地 (がけ) の崩壊危険箇所: 急傾斜 32箇所 (33箇所)
- 計 41箇所 (61箇所)

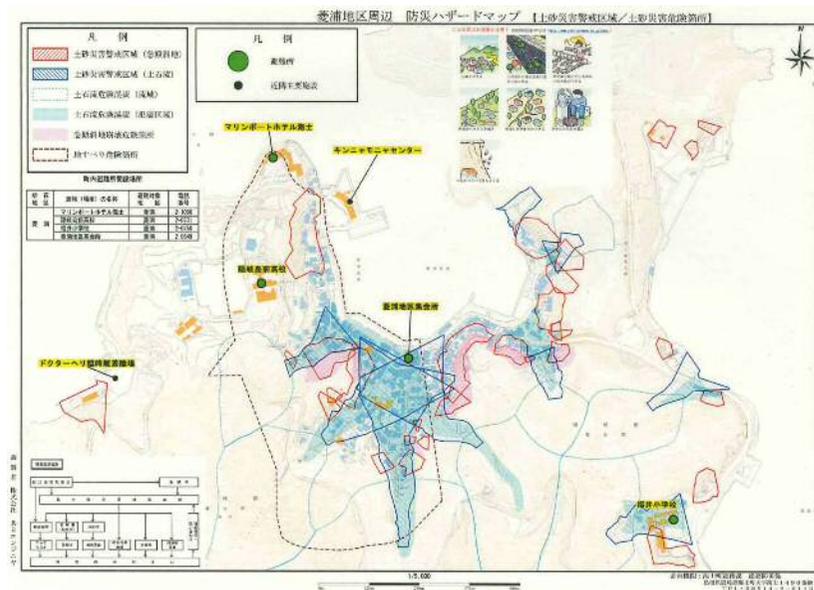
## ●指定後の周知について

マップオンしまねにおいて指定箇所を周知している。



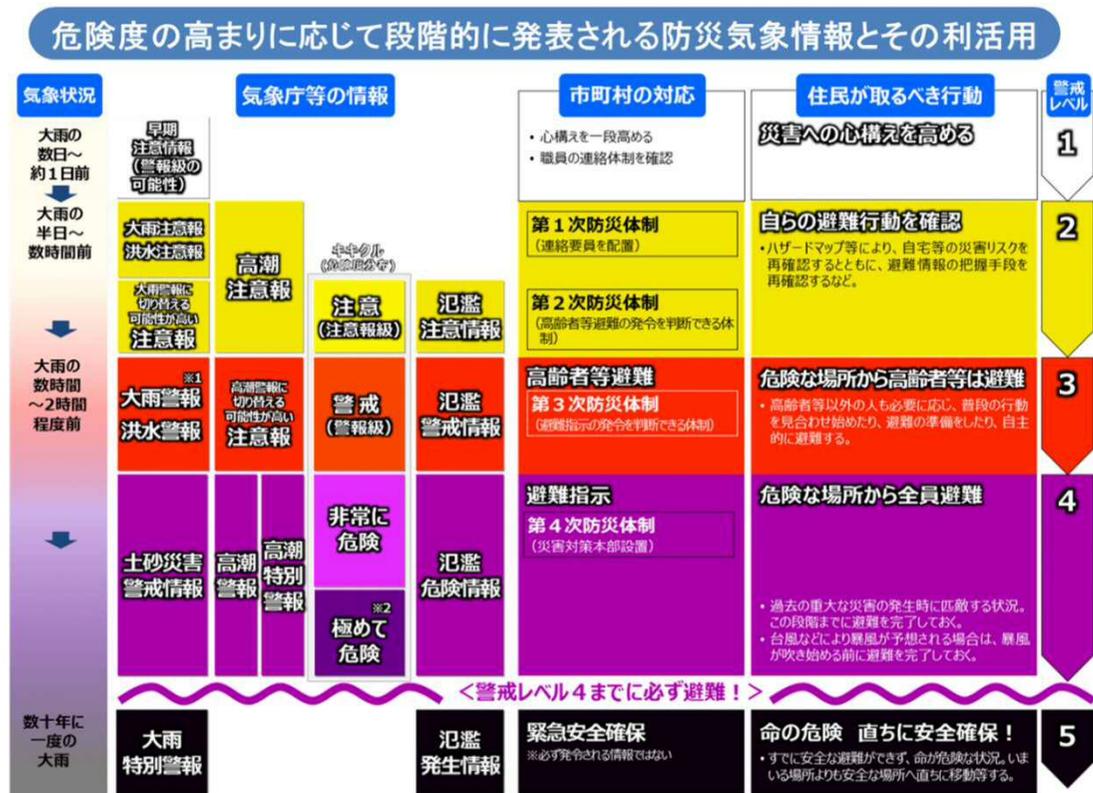
項目	2. 土砂ハザードマップの改良・周知	
内容	R2年度取組	・土砂災害特別警戒区域が指定されたことにもない、ハザードマップを更新
	R3年度取組	・ハザードマップを更新。紙媒体、ホームページにより住人へ周知
	R4年度予定	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知
取組機関	海士町、西ノ島町、知夫村	

ハザードマップ(防災ガイドブック)(例)



項目	3. 避難勧告等の発令に着目した土砂災害情報伝達体制の確立（土砂災害対応タイムラインの作成）	
内容	R2年度取組	第1回書面担当者会議、書面協議会（6月）において素案を示し、協議の了承を得る。実事象において試運用することとしたが、実事象がなかったため試運用及び検証することができなかった。
	R3年度	R3は土砂災害タイムライン作成は、継続中で未完了。
	R4年度予定	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R5の協議会で暫定運用の承認を得る。
取組機関	協議会全体	

段階的に発表される防災気象情報の活用例（松江地方気象台より）



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。  
 ※2 「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みを活用することが考えられます。  
 「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

項 目	3. 避難勧告等の発令に着目した土砂災害情報伝達体制の確立（土砂災害対応タイムラインの作成）	
内 容	R2年度取組	第1回書面担当者会議、書面協議会（6月）において素案を示し、協議の了承を得る。 実事象において試運用することとしたが、実事象がなかったため試運用及び検証することができなかった。
	R3年度予定	R3は土砂災害タイムライン作成は、継続中で未完了。
	R4年度予定	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R5の協議会で暫定運用の承認を得る。
取組機関	協議会全体	

資料3のとおり

項 目	4. 浸水害、土砂災害の危険度について島根県・気象台からの情報提供（ホットラインの定着）	
内 容	R2年度取組	土砂災害情報伝達訓練を実施
	R3年度取組	土砂災害情報伝達訓練を実施
	R4年度予定	土砂災害情報伝達訓練を実施
取組機関	協議会全体	

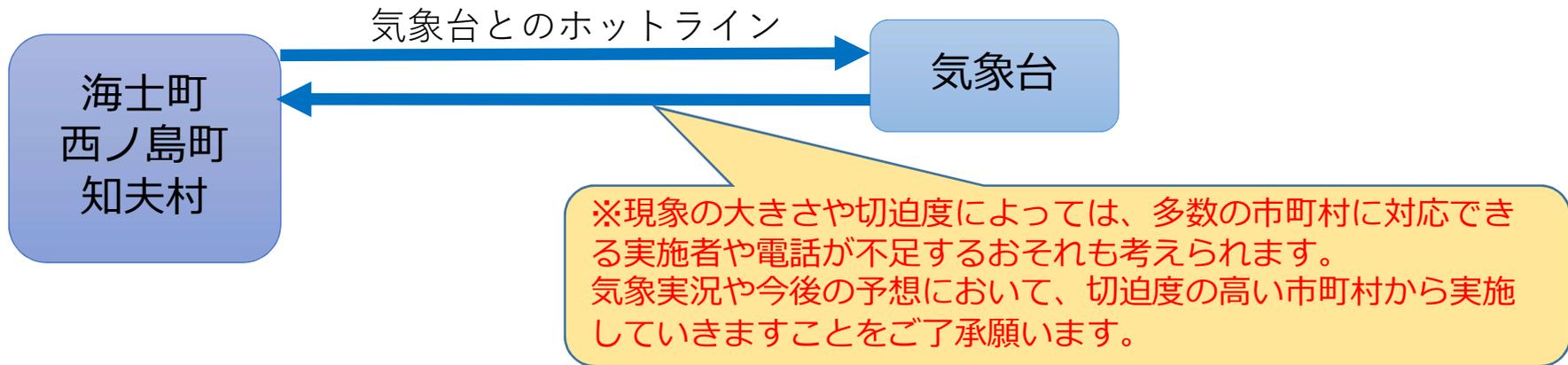
## 土砂災害に係る情報伝達訓練

実施日 R2.6.3 R3.6.1 R4.6.9

## 参加機関

松江地方気象台  
島根県隠岐支庁県民局  
県土整備局  
島根県消防総務課  
防災危機管理課  
砂防課

項目	4. 浸水害、土砂災害の危険度について島根県・気象台からの情報提供（ホットラインの定着）	
内容	R3年度取組	情報伝達演習においてホットラインを実施
	R4年度予定	情報伝達演習においてホットラインを実施
取組機関	協議会全体（松江地方気象台）	



気象台から積極的にお伝えする内容

- ◆ 警戒内容解説  
（大雨警報・洪水警報を発表すると判断した時）
- ◆ 顕著な警戒事項発生 of 解説  
（記録的短時間大雨情報や  
土砂災害警戒情報発表時）
- ◆ 最終判断の助言（避難判断必要時）
- ◆ 危機的状況の解説（特別警報発表時）

担当者間

松江地方気象台長から海士町長 西ノ島町長 知夫村長 へ

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	記録的短時間大雨情報の改善
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 記録的短時間大雨情報の改善

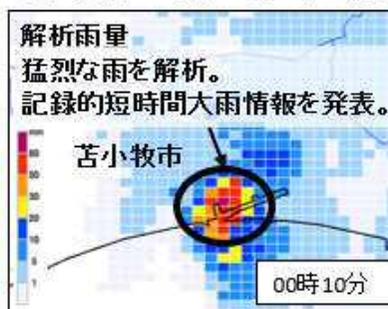
【令和3年6月8日～】

- (記録的短時間大雨情報) 大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを伝えることで、どこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布(愛称:キキクル)」で確認し、自主的な安全確保の判断を促すもの。
- (改善のポイント) 当該市町村が警戒レベル4相当の状況となっている場合にのみ発表することで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることを適切に伝えられるように改善。

これまで

大雨警報を発表中に、記録的短時間大雨情報の基準に到達したときに発表。

令和元年11月12日の胆振地方の例



災害発生と結びつきが強い情報に改善

改善後

キキクルで「非常に危険」(警戒レベル4相当)以上が出現し、且つ記録的短時間大雨情報の基準に到達したときにのみ発表する。



「キキクル」の危険度を発表条件に加えることで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることが伝わるように改善。

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	「キキクル（危険度分布）」通知サービスの細分化
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 「キキクル（危険度分布）」通知サービスの細分化

【令和3年6月8日～】

- ▶ 住民の自主的な避難の判断によりつながるよう、「キキクル」の通知サービスについて、政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。

### 改善の方向性

- ▶ 危険度通知サービスの通知単位の細分化も含めた検討。
- ✓ 政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。
- ✓ 併せて、1kmメッシュの「キキクル」そのものを活用した、きめ細かな通知についても促進。
- ✓ 市町村における避難指示の発令単位の検討に気象台も積極的に協力し、準備が整った地域から発令単位等に合わせて市町村をいくつかに分けて通知を開始。（中長期的に検討を進める）

今回の改善



市町村の避難指示の発令単位等に合わせて市町村をいくつかに分けて通知の提供



項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	警戒レベルと対応した高潮警報等に改善
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 警戒レベルと対応した高潮警報等に改善

【令和3年6月8日～】

- 自治体や住民が高潮警報のみで避難が必要とされる警戒レベル4に相当しているかを判断できるよう、暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える可能性が高い注意報」は高潮警報として発表するよう改善。
- ✓ 高潮災害からの避難は、潮位が上昇する前に暴風で避難できなくなるため、高潮警報のみでは判断できず、暴風警報も考慮した判断が必要とされている。

### 平成30年台風第21号の例

大阪市		今後の推移(■警戒レベル ■注意報)										
発表中の警報・注意報等の種別		4日					5日					
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	19時間最大雨量(ミリ)	0	0	40	70	70	40					
	(浸水害)											
	(土砂災害)											
暴風	風向風速(矢印・メートル)	陸上	2	14	20	35	35	18	15	12	12	
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
高潮	波高(メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5		
	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				



大阪市		今後の推移(■警戒レベル ■注意報)										
発表中の警報・注意報等の種別		4日					5日					
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	19時間最大雨量(ミリ)	0	0	40	70	70	40					
	(浸水害)											
	(土砂災害)											
暴風	風向風速(矢印・メートル)	陸上	2	14	20	35	35	18	15	12	12	
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
高潮	波高(メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5		
	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				

高潮からの避難が必要な状況であることがより明確に伝わるようになり、より安全なタイミングで住民が避難することが可能に。

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

【令和3年6月17日～】

### ● 背景 ～なぜ始めるのか～

毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。この線状降水帯による大雨が、災害発生危険度の高まりにつながるものとして社会に浸透しつつあり、線状降水帯による大雨が発生している場合は、危機感を高めるためにそれを知らせてほしいという要望があります。

### ● 位置づけ ～情報のコンセプト～

大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

※ この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

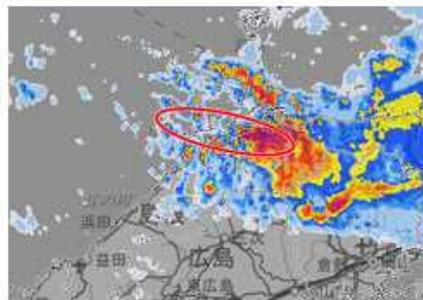
※ この情報により、報道機関や気象キャスター等が「線状降水帯」というキーワードを用いた解説がしやすくなることが考えられます。既存の気象情報も含めて状況を的確にお伝えすることにより、多くの方々に大雨災害に対する危機感をしっかり持っていただくことを期待します。

### 線状降水帯に関する情報のイメージ

#### 顕著な大雨に関する〇〇県気象情報

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生危険度が急激に高まっています。

### 線状降水帯に関する情報を補足する図情報のイメージ(令和3年7月7日の例)



○ 大雨災害発生危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

※ 「雨雲の動き」(高解像度降水ナウキャスト)の例。

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	指定河川洪水予報の改善
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

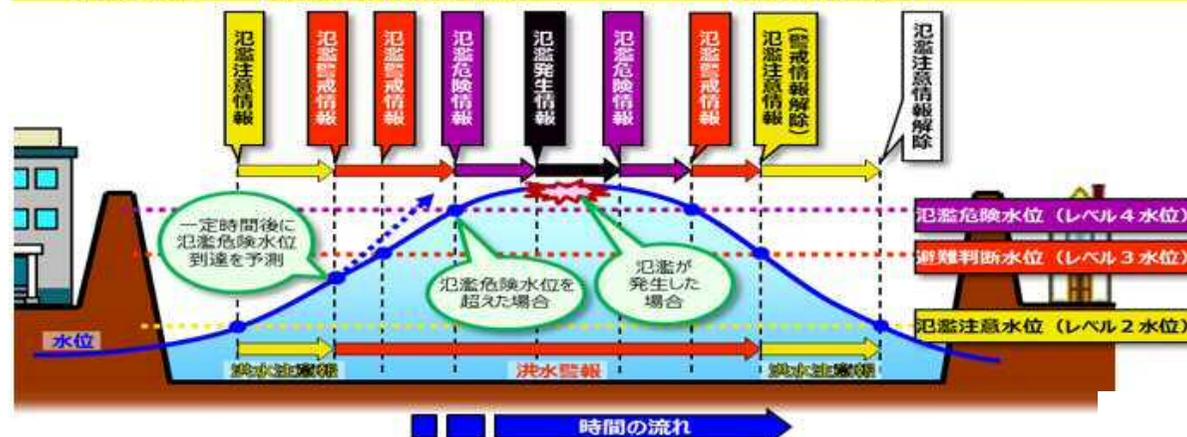
松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 指定河川洪水予報の改善

【令和3年6月1日～】

- (指定河川洪水予報) 河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、国または国と都道府県が共同で、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示して行う洪水の予報。
- (改善のポイント) 国管理河川における指定河川洪水予報の水位または流量の**予測時間を、従来の3時間先から6時間先までに延長**する改善を実施。

洪水予報の標頭(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報(洪水警報)	氾濫の発生(氾濫水の予報*)	氾濫水への警戒を求める段階【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報(洪水警報)	氾濫危険水位(レベル4水位)に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報(洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4水位)に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位(レベル3水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報(洪水注意報)	氾濫注意水位(レベル2水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階【警戒レベル2相当】



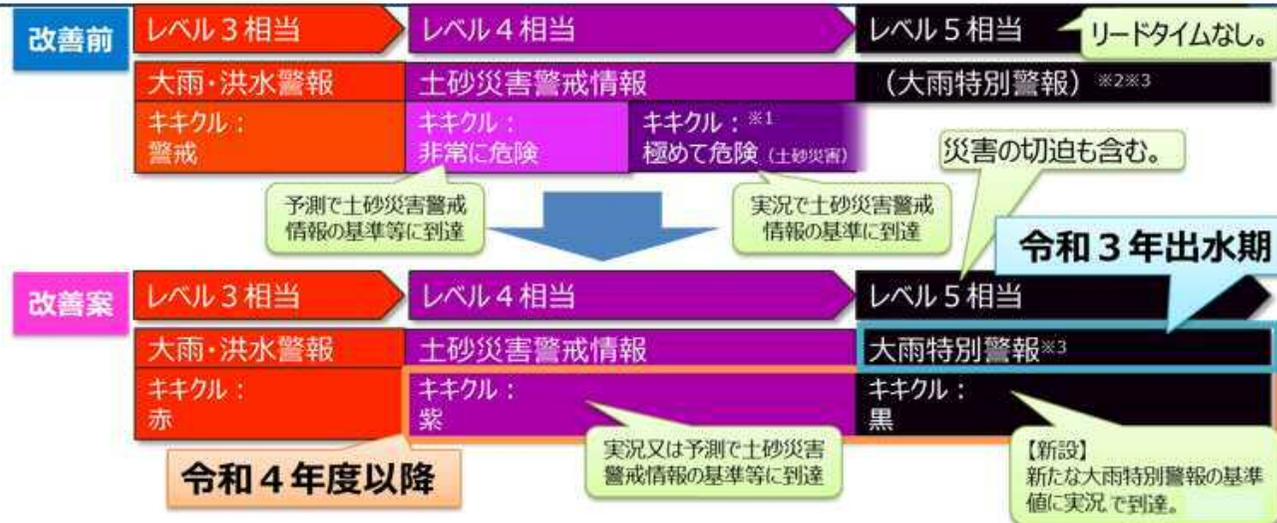
項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	防災気象情報と警戒レベルとの対応
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 防災気象情報と警戒レベルとの対応

【令和3年出水期】【令和4年出水期】

- 【令和3年出水期～】警戒レベル5に「災害の切迫」がある状況も含まれることに伴い、引き続き大雨特別警報を警戒レベル5相当として位置付け、警戒レベル5「緊急安全確保」の発令基準例として「避難情報に関するガイドライン」に記載する。
- 【令和4年度以降】新たな大雨特別警報の基準値への到達を示す「キキクル（危険度分布）」の「災害切迫(仮)」（黒）を警戒レベル5相当に位置付けるとともに、警戒レベル4が避難指示に一本化されることを踏まえ、「キキクル（危険度分布）」の警戒レベル4相当も「危険(仮)」（紫）に一本化する。



※1 避難指示（緊急）の発令基準。技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討。  
 ※2 市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。  
 ※3 重大な災害の起こるおそれが高まっている場合に発表し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始
	R04年度予定	大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

## 防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始

【令和3年6月3日～】

- 大雨時の防災対応に役立てていただくことを目的として、防災情報提供システムによるキキクル(危険度分布)のメール通知\*を開始。
- 警報・注意報のメール通知と同様の仕組みで受信設定ができ、受信したい災害種別や危険度を自分で好きなようにカスタマイズすることができます。

### 受信設定可能な条件

#### ● 災害種別

土砂災害、浸水害、洪水又はそれらを総合した危険度のうち、受信したいものだけを選択可能



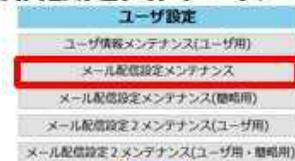
#### ● 危険度

早期注意情報以上、「注意」(黄色)以上、「警戒」(赤)以上、「非常に危険」(うす紫)以上、「極めて危険」(濃い紫)以上のいずれか

#### ● 配信対象地域

二次細分区域単位又は一次細分区域単位で設定可能

### 受信設定画面のイメージ



	配信の有無				頻度の設定
大雨(総合)	<input type="checkbox"/> 『非常』(赤)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒』(赤)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『注意』(黄色)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『心構えを高める』以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 一定期間の再配信を抑制する
土砂災害	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル4』(濃紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル3』(薄紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル2』(黄紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル1』(黄)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 一定期間の再配信を抑制する
浸水	<input type="checkbox"/> 『非常』(赤)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒』(赤)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『注意』(黄色)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『心構えを高める』以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 一定期間の再配信を抑制する
洪水	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル4』(濃紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル3』(薄紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル2』(黄紫)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 『警戒レベル1』(黄)以上になった時に配信	<input type="checkbox"/> 一定期間の再配信を抑制する

\* キキクル(危険度分布)の通知サービスについては、以下のリンク先に記載の5つの事業者でも実施しています。各社のアプリ等の仕様により通知の条件が異なる場合がありますので、詳しくは各社の説明をご覧ください。

[http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame\\_push.html](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R03年度取組	新水防情報システムへのアクセス数増加によるサーバーダウンを改善（島根県） 各種防災気象情報の改善（松江地方気象台）
	R04年度予定	新水防情報システムの運用による見直し（島根県） 各種防災気象情報の改善（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

島 根 県

### 1. 周知の取組状況

◇報道発表

- ・ H31.3.~5月  
新聞4社、テレビ1社で報道

◇チラシ作成

- ・ 各種会議,出前講座,イベント,  
小中学校等へ配布



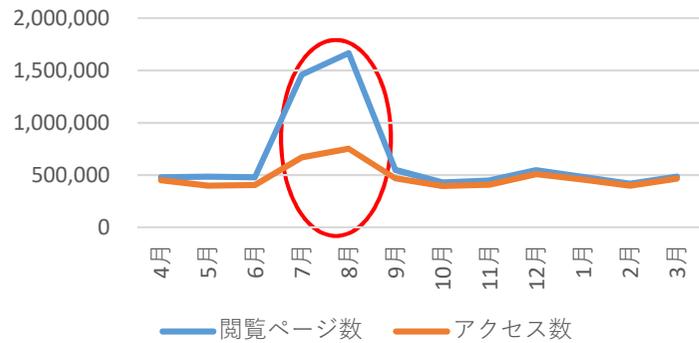
一般向けチラシ



小学校向けチラシ

### 2. 水防情報システムへのアクセス状況

令和3年度 アクセス数・閲覧ページの推移



◇R3.7月梅雨前線による降雨  
R3.8月は台風によりアクセス数増加  
➤CDN導入により正常な閲覧が可能

◇最大アクセス数（R3.7~8月）  
（1時間当り）

7/7 12:00~13:00	・アクセス数 9,725
・閲覧ページ数 25,800	
8/9 10:00~11:00	・アクセス数 6,252
・閲覧ページ数 30,104	

### 3. 今後の取組

◇防災メールへURL掲載（済）

◇過去の雨量・水位データの提供

- ・ダウンロードサイトの開設（済）
- ・水防システムにリンク先を掲載

●発表日時:2019/06/30 5:13  
●水防情報:  
島根県から発表されました。

河川:宍道湖(松江)氷位:水防団待機水位

防災ポータル:  
<https://www.bousai-shimane.jp/>  
※スマートフォン・タブレット・PCの方はこちら  
<http://www.bousai-shimane.jp/FP>  
※ガラケーの方はこちら

登録内容の変更・配信解除は...

変更前

➡

●発表日時:2019/06/30 5:10  
●水防情報:  
河川:宍道湖(松江)氷位:水防団待機水位に達しました

島根県水防情報システム PC サイト  
<https://www.suibou-shimane.jp/pc/>

防災ポータル:  
<https://www.bousai-shimane.jp/>  
※スマートフォン・タブレット・PCの方はこちら  
<http://www.bousai-shimane.jp/FP>  
※ガラケーの方はこちら

変更後

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R2年度取組	新土砂災害予警報システム開発実施及び運用開始（島根県）
	R3年度取組	新土砂災害予警報システム運用及び周知（島根県）
	R4年度予定	新土砂災害予警報システム運用及び周知（島根県）
取組機関	島根県	

### 【新・土砂災害予警報システムの概要】

- ①障害に強いシステムの構築
- ②高精度化（5キロメッシュ→1キロメッシュ）、迅速化（判定間隔30分→10分）
- ③複数情報表示、多言語対応、スマートフォン対応

**大雨時に全域の降雨状況を迅速に把握 ⇒ 警戒・避難に関する総合的な判断を支援**

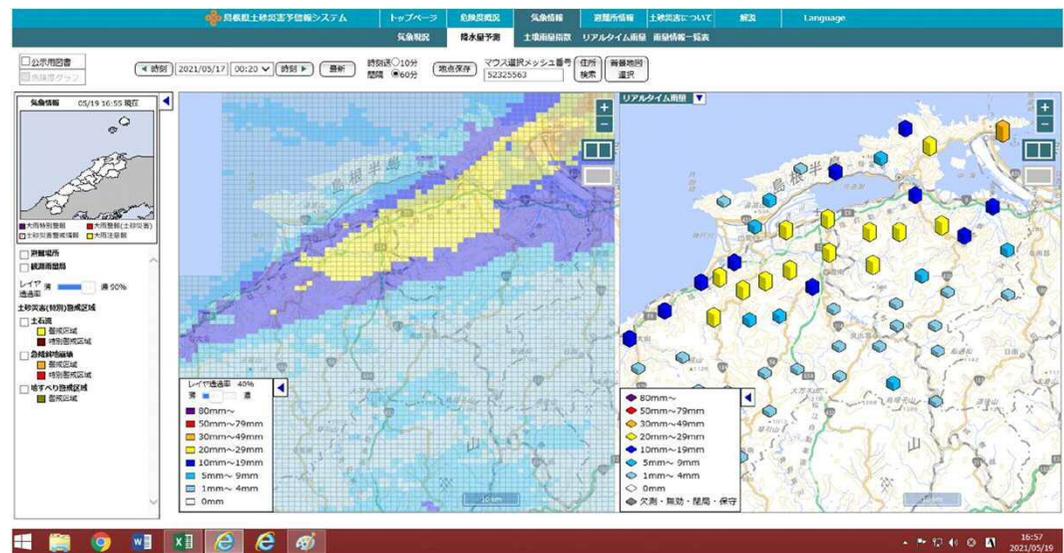


**【TOP画面】**  
目的別表示で見易い

**【多言語対応】**  
英語、中国語、韓国語  
ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語  
※海外観光客へも配慮

スマホ版      携帯版

・地図の拡大縮小・移動が可能  
・GPS機能で位置情報を入力



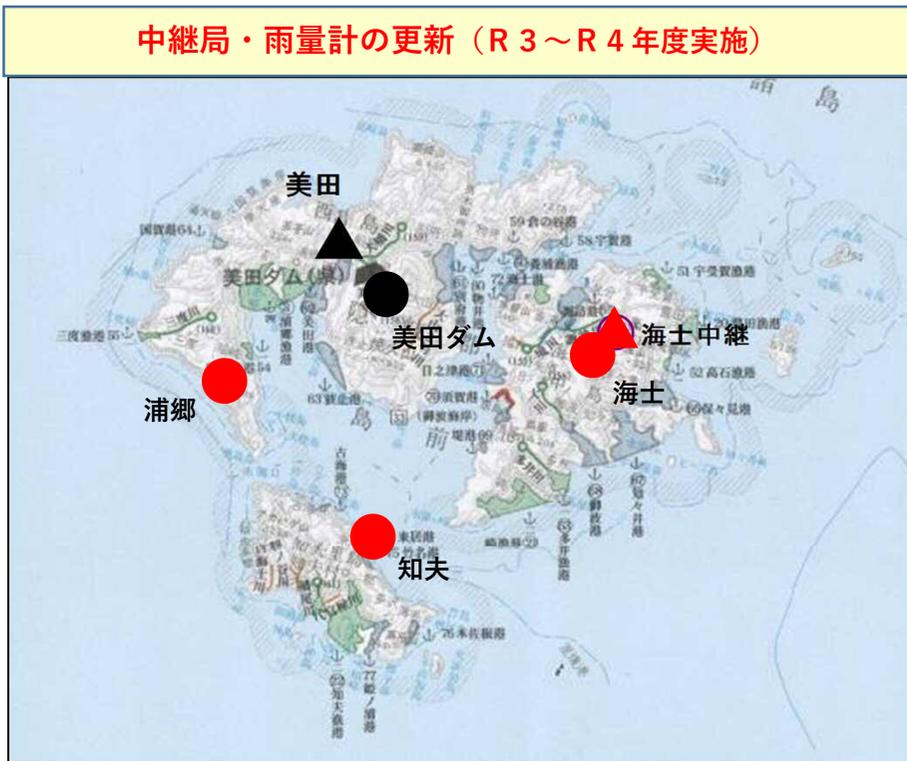
**【情報提供画面】**

- ・複数情報の確認
- ・複数メッシュの重ね
- ・1kmメッシュで提供
- ・土砂災害（特別）警戒区域の表示
- ・2画面表示（選択可能）
- ・避難所情報の表示

項目	5. 避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	
内容	R2年度実施	雨量計、水位計等の更新完了（島根県：水防情報システム）※他圏域 雨量計等の更新に着手（島根県：土砂災害予警報システム）
	R3年度実施	雨量計等の更新（島根県：土砂災害予警報システム）
	R4年度予定	雨量計等の更新完了（島根県：土砂災害予警報システム）
取組機関	島根県	

**島 根 県**

**▲●老朽化した観測局の更新工事の実施**



<b>水位局（水防情報システム）</b>	・更新なし
<b>雨量局（水防情報システム）</b>	・更新なし
<b>中継局（土砂災害予警報システム）</b> <small>R4完了</small>	・海士
<b>雨量局（土砂災害予警報システム）</b> <small>R4完了</small>	・浦郷 ・知夫  ・海士

項目	6. 出前講座や広報誌を活用した防災知識の普及	
内容	R2年度取組	出前講座、研修会を実施（松江地方気象台、島根県） 新聞広報（考える県政）等による情報発信（島根県）
	R3年度予定	出前講座、研修会を実施（松江地方気象台、島根県） 新聞広報（考える県政）等による情報発信（島根県）
取組機関	協議会全体（松江地方気象台、島根県）	

**R2 出前講座、研修会の実施、新聞広報等による情報発信  
（松江地方気象台、島根県）**

**新聞広報による情報発信  
考える県政の掲載（島根県）**

日時 令和2年6月20日（土）  
内容 「警戒レベル」と避難のタイミングについて  
日頃からの災害の備えについて  
島根県が配信する各種防災情報の入手先について



**県・市町村職員向け  
水防研修会の実施（島根県・松江地方気象台）**



日時 令和2年6月30日（火）9:00～12:00  
場所 県庁南庁舎災害対策室ほか（Web形式）  
対象 県職員 約20名  
内容 水防法・島根県水防計画の概要 島根県河川課  
防災気象情報の利活用 松江地方気象台

**防災士養成研修の実施  
（島根県）**

日時 令和3年2月13日（土） 9:30～18:40  
14日（日） 9:30～18:30  
場所 島根県民会館（展示ホール）  
受講者 54名  
内容 防災に関する各種講義、防災士資格  
取得試験





項目	6.出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	R03年度取組	報道機関との懇談会を定期的を開催
	R04年度予定	定期的な開催を継続して実施する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 他機関と連携した防災知識の普及・啓発・周知(令和3年度実施)

## 報道機関との懇談会を定期的に開催

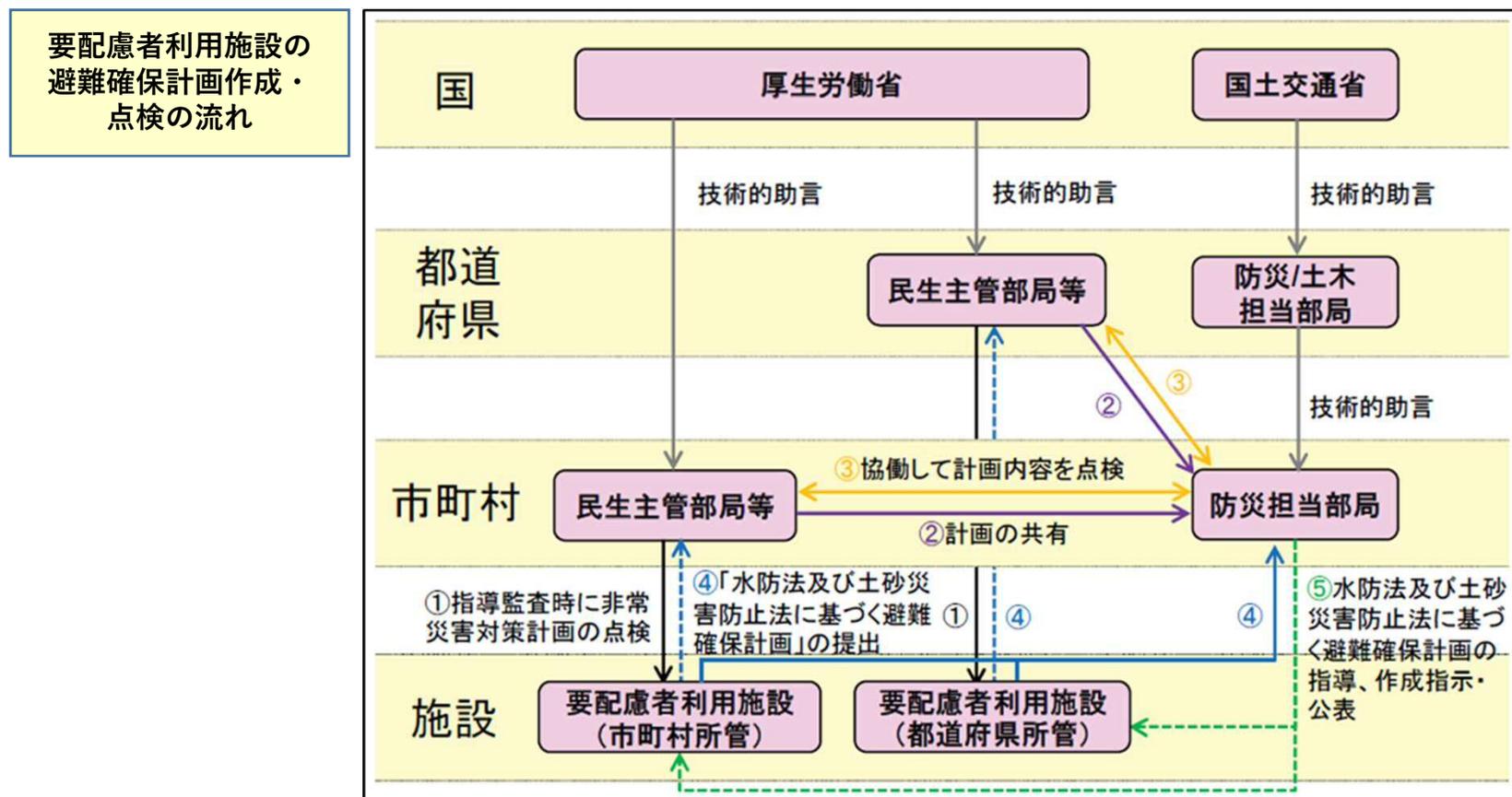
- ・ Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を  
出雲河川事務所・浜田河川国道事務所と共同開催
- ・ 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- ・ Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ  
効果的・効率的な連携を実現



### 【開催実績とテーマ】

- |     |            |  |
|-----|------------|--|
| 第1回 | 令和3年 6月 9日 | 「顕著な大雨に関する気象情報について」「メディアとの連携について」                  |
| 第2回 | 令和3年10月14日 | 「住民に伝わる情報を目指して」「令和3年8月出水の概要」「無堤部における氾濫発生情報の発表について」 |

項目	7. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	R3年度取組	対象施設に対する周知促進、民生部局との連携、作成支援（協議会全体）
	R4年度予定	対象施設に対する周知促進、民生部局との連携、作成支援（協議会全体）
取組機関	協議会全体	



国土交通省HP「◇法改正についての各地方ブロック説明会資料（平成29年6月作成）」より抜粋

項目	7. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	R3年度取組	対象施設に対する周知促進、民生部局との連携、作成支援（協議会全体）
	R4年度予定	対象施設に対する周知促進、民生部局との連携、作成支援（協議会全体）
取組機関	協議会全体	

要配慮者利用施設管理者による  
避難確保計画の作成・避難訓練実施の義務化

要配慮者利用施設の所有者・管理者の皆さまへ

**水防法・土砂災害防止法が改正されました**

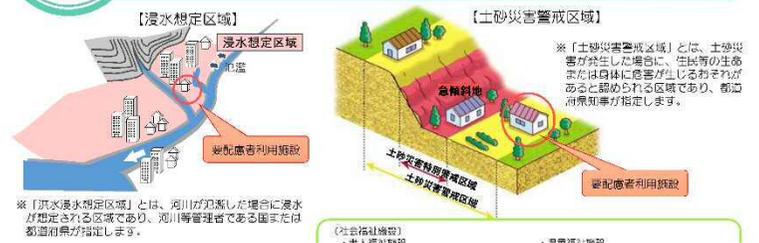
～要配慮者利用施設における円滑かつ迅速な避難のために～

※土砂災害防止法の正式名称は「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」です。

「水防法等の一部を改正する法律（平成29年法律第31号）」の施行により、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため『水防法』及び『土砂災害防止法』が平成29年6月19日に改正されました。



浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、**避難確保計画**の作成・**避難訓練**の実施が**義務**となりました。 ※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象です。



■全国目標；  
令和3年度までに計画作成率100%

要配慮者利用施設管理者向けの説明会  
(関係市町村、国土交通省、島根県河川課・砂防課等)



開催状況

	開催日	開催場所	参加人数
1	平成29年1月11日(水) 2回	出雲会場	300人
2	平成29年1月12日(木) 2回	松江会場	320人
3	平成29年1月20日(金) 2回	益田会場	220人
4	平成29年2月 8日(水)	隠岐島後会場	40人
5	平成29年2月 9日(木)	隠岐島前会場	30人
6	平成29年2月17日(金) 2回	浜田会場	160人
7	平成30年3月13日(火)	益田会場	68人
8	平成31年1月23,24日 4回	出雲会場	300人
9	令和 2年2月 6日(木)	江津会場	28人
合計			1466人

No,1~6 水害・土砂災害の備えに関する説明会(法改正前)  
No,7~9 避難確保計画作成に係る説明会

項目	8. 堆積土砂の撤去等による河川氾濫・浸水害を未然に防ぐ対策（例）	
内容	R3年度取組	諏訪川【堆積土砂撤去】
	R4年度予定	境川【堆積土砂撤去】
取組機関	島根県、海士町、西ノ島町、知夫村	

**R3 河川区域内 立木（支障木）の伐採、堆積土砂の撤去**

施工前



施工後



**【位置図】**  
海士町大字海土地内  
諏訪川

項目	9. 土砂、立木対策の推進	
内容	令和3年度取組	西尾の代川【砂防ダムの整備完了（事業概成）】
	令和4年度予定	—
取組機関	島根県	

**R3 西尾の代川 砂防堰堤**



**【位置図】**  
西ノ島町大字別府地内  
西尾の代川



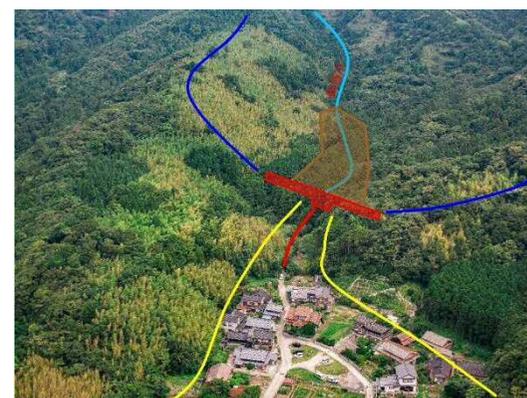
堰堤全景



下流より撮影

項目	9. 土砂、立木対策の推進	
内容	令和3年度取組	知当川【本堤工施工】
	令和4年度予定	知当川【護岸工施工】
取組機関	島根県	

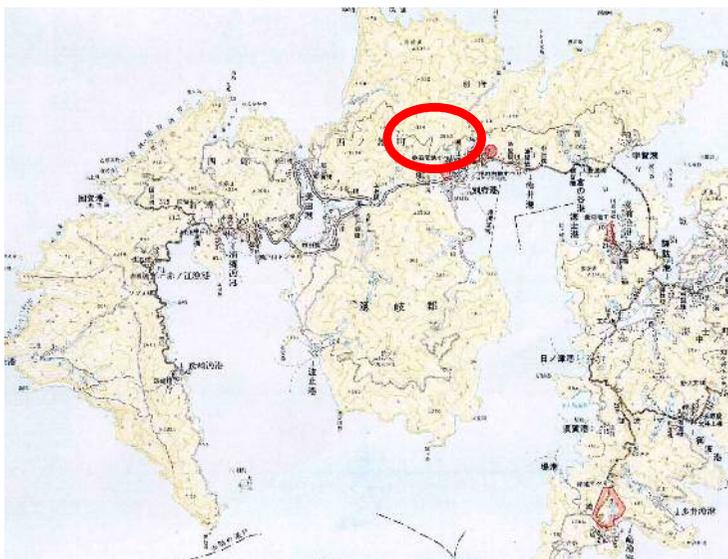
知当川 砂防えん堤



【位置図】  
西ノ島町大字宇賀地内  
知当川

項目	9. 土砂、立木対策の推進	
内容	令和3年度取組	中別府川【砂防ダムの測量、詳細設計】
	令和4年度予定	中別府川【砂防ダムの事業用地の取得】
取組機関	島根県	

中別府川 砂防えん堤



【位置図】  
西ノ島町大字別府地内  
中別府川

